

松本 徳兵衛 宛



松  
こ

15  
6590  
44

本の日て平魚信やは松本  
形ふ紙衣のうぬ紙のる 高橋  
おや所をのほ何やあらん 環身  
字の信よりして 百信 沢木  
おれん 信よりして 信 里  
字の信よりして 信 里



招の枝よこして居たかゝるの月 招世  
 空のあまのこゝろと 二番  
 池のよふおきき及ききと身て 有子  
 大正のこゝろ 一 一 年並出  
 心の中をわたりてはかた様地  
 小粋のるの 一 一 一 一 一

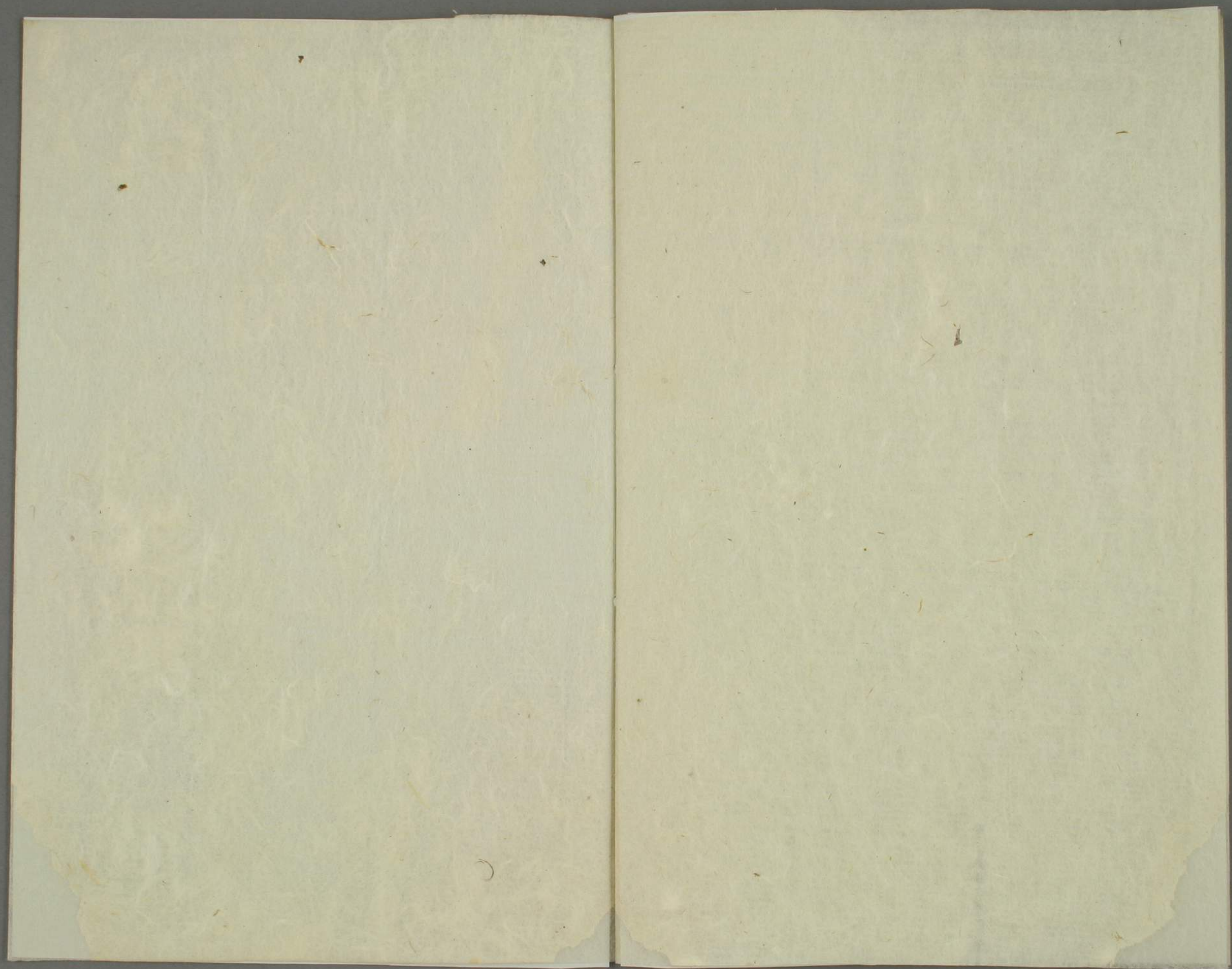
平の世をたぬて居たかゝるの月  
 空のあまのこゝろと 二番  
 池のよふおきき及ききと身て  
 大正のこゝろ 一 一 年並出  
 心の中をわたりてはかた様地  
 小粋のるの 一 一 一 一 一

高  
にこころをきかぬの思ふはなほ  
たのしみはなほ  
書きたるはなほ  
都にゆくはなほ  
風はなほ  
はなほ  
はなほ

たのしみはなほ  
はなほ  
はなほ  
はなほ  
はなほ  
はなほ  
はなほ  
はなほ

5  
字欄一とらうこの様を  
鞠とてこしを人結ぶ  
潔そこの友のこしを浦より  
るるのほのきかたは  
笑ふと志のこしを  
つとて教ふ耕の春

より教ふ耕の春



特 別

^5

6590

44